

1. 研究活動

岐阜県産の地衣類 (1). 日本新産の石灰岩生のサラゴケ科地衣類 <i>Gyalecta jenensis</i>	2011. 10. 22	Lichenology, vol.10, no.1	日本で報告がなかったサラゴケを岐阜県高山市において発見し記載した。43～46頁。共著者：川上 紳一・東條 文治・原田 浩。
岐阜県産の地衣類 (2). 日本新産のダイダイゴケ属地衣類, アツミダイダイゴケ <i>Caloplaca cinnabarina</i> (ダイダイゴケ科)	2011. 10. 22	Lichenology, vol.10, no.1	日本で報告がなかったアツミダイダイゴケを岐阜県内において発見し記載した。47～51頁。東條 文治・川上 紳一・原田 浩・岡本 達哉。
岐阜県産の地衣類 (3). 岐阜県新産のクロサビゴケ <i>Placynthium nigrum</i> (クロサビゴケ科)	2011. 10. 22	Lichenology, vol.10, no.1	岐阜県で報告がなかったクロサビゴケを岐阜県内において発見し記載した。53～57頁。共著者：川上 紳一・東條 文治・原田 浩。
岐阜県産の地衣類 (4). 岐阜県新産のウロコイボゴケ <i>Phyllopsora kiiensis</i> (カラタチゴケ科)	2012. 2. 29	Lichenology, vol.10, no.2	岐阜県で報告がなかったウロコイボゴケを岐阜市内において発見し記載した。169～173頁。川上 紳一・長澤 美穂・東條 文治・原田 浩。
岐阜県加茂郡七宗町飛水峡層状チャートの地衣類	2012. 2. 29	Lichenology, vol.10, no.2	飛水峡の層状チャート上に見られる地衣類層の調査を行った。181～184頁。共著者：川上 紳一・東條 文治・柴垣 匡利・原田 浩。
教員養成課程の大学生を対象としたネイチャーゲームへの予察的意識調査	2012. 3. 30	名古屋芸術大学研究紀要、第33巻	教員養成課程の大学生を対象として20種類のネイチャーゲームで興味関心の高いものをアンケートにより調査した。197～204頁。
教員養成課程大学生を対象としたネイチャーゲームに対する意識の因子分析	2012. 3. 30	名古屋芸術大学人間発達研究所年報、第1巻	ネイチャーゲームについて行ったアンケート結果について因子分析をし、小学校の授業に導入したいものの傾向を調査した。69～73頁。
天文学習のための人工衛星光度観測	2012. 3. 30	名古屋芸術大学人間発達研究所年報、第1巻	人工衛星の観測を天文学習にとりいれるために、観測データから光度予測を行った。75～82頁。共著者：東條 文治・鷲見 陽紀・川上 紳一。
二枚貝の微細成長縞観察方法の比較検討	2012. 3. 30	名古屋芸術大学人間発達研究所年報、第1巻	複数の二枚貝を用いて、微細成長縞の観察手法の比較を行った。83～92頁。共著者：東條 文治・朝倉 利明。
モロッコ産隕石の収集と科学教育・理科教育における活用	2012. 3	岐阜大学教育学部研究報告(自然科学)第36巻	モロッコ産隕石を収集し教材として活用を図り、その意義を検討した。81～87頁。共著者：川上 紳一・勝田 長貴・東條 文治・山中 敦子・小野 輝雄。
東海層群をテーマにしたコア・サイエンス・ティーチャー CST 中級研修講座の実施と教材開発・理科授業実践	2012. 3	岐阜大学教育学部研究報告(自然科学)第36巻	岐阜県大垣市上多良地区に露出する東海層群の教材化と授業実践を行った。95～100頁。共著者：川上 紳一・長谷川 広和・東條 文治。

地衣類調査をテーマにした科学教育プログラムの構築とweb教材『進化する地衣類図鑑』の開発	2011. 7. 10	日本地衣学会第10回大会(神戸薬科大学)	科学的発見を実感できる科学研究テーマとして地域の地衣類調査の導入と図鑑の開発を進めている。共著者:川上 紳一・東條 文治・原田 浩。
岐阜県加茂郡川辺町の飛騨川河床に露出する蜂屋層(第三紀火山岩類)に見られる地衣類	2011. 7. 10	日本地衣学会第10回大会(神戸薬科大学)	岐阜県加茂郡川辺町の飛騨川河床の蜂屋層でみられる地衣類層の調査を行った。共著者:柴垣 匡利・川上 紳一・東條 文治・原田 浩。
地衣類調査をテーマにした科学教育プログラムの構築とweb教材『進化する地衣類図鑑』の構築	2011. 11. 26	日本理科教育学会第57回東海支部大会(名古屋女子大学・汐路キャンパス)	科学的発見を実感できる科学研究テーマとして地域の地衣類調査の導入と図鑑の開発を進めている。共著者:東條 文治・川上 紳一。
モロッコ産隕石の収集と科学教育・理科教育における活用	2011. 11. 26	日本理科教育学会第57回東海支部大会(名古屋女子大学・汐路キャンパス)	モロッコ産隕石を収集し、理科教材として活用を検討した。共著者:川上 紳一・東條 文治・山中 敦子・小野 輝雄。
アンモナイト化石を用いた課題探求型理科学習の展開	2011. 11. 26	日本理科教育学会第57回東海支部大会(名古屋女子大学・汐路キャンパス)	ジュラ紀のアンモナイト化石を用いた示準化石で時代決定を行う教育プログラムを開発・実践した。共著者:竹中 諒・東條 文治・川上 紳一・山中 敦子。
平成23～25年度科学研究助成。研究課題「フランス産ジュラ紀アンモナイト化石の分類学的研究と教材開発」			フランス及びモロッコで産するジュラ紀アンモナイトについて分類学的な検討を行う。さらに化石の同定・示準化石を用いた時代決定などの理科教材として教育プログラムを開発し、実践を行う。

2. 教育活動(教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 ■有 □無

3. 学会等および社会における主な活動